



平成22年11月1日発行

〒358-0003

入間市豊岡1-15-1

豊岡高校同窓会
会報編集委員会

創立90周年

座談会

特集

豊
高
米
中

木下 博氏（入間市長）昭和26年卒
仲川幸成氏（狭山市長）昭和35年卒
村野志朗氏（入間市教育長）昭和40年卒
成瀬英二氏（豊岡高等学校長）・進行

在校時の思い出

に、村野さんは昭和40年で「普通科の幕開けの頃」かなと思います。それぞれ在学中の思い出や授業、又実習や課外活動、学校行事などについてお話し頂けますでしょうか。

成瀬 今日はお忙しいところありがとうございます。今年は本校創立九十周年ということで百周年が目前です。そこで、「豊岡高校の精神」とは何かということを、今日の座談会のテーマにし、これを中心に豊実時代の同窓生、御三方のお話をお聞かせ願えればと思っています。

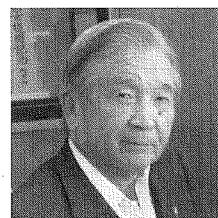
豊高九十年の歴史（『豊岡高校90年小史』参照）を振り返ってみると、大正9年に農学校として創立されて以来、農→商→普の激動の系譜をたどつてきました。木下さんは昭和26年卒業で丁度「豊実時代の最盛期」仲川さんは昭和35年卒業「豊実時代の最後」



私たちちは20年4月に入學し、8月には終戦になりましたが、約五ヶ月は戦時教育も受けながらの勉學でした。學制改革で昭和23年新制中学になりま

た。それと同時に、時代の要請に応えた農業というものに視点を当てての開校でした。ですから校訓にあるような、「質実剛健」というような思想は豊

したので、我々は旧制で三年、新制の高校で三年学び、計六年間在籍した訳です。この時代の卒業生は社会から非常に嘱望されていました。生徒たちも卒業後はそれぞれに実力を発揮して、社会の期待に応えました。



実業界や科

学の道に進んだ人の中には、それぞれの世界でトップクラスの活躍をされた方だつているわけですから。まさに、「質実剛健」という校風が生き続けてきたのではないかと思います。あの頃、実習では黒須の田圃や士官学校の中の農園、狭山台の農場などで作業をしました。

狭山飛行場では、敵機の襲撃を受けたこともあります。あの時代の豊實には建学の精神がまだまだ生きていたなと思います。

仲川 戦時中、川中（現・川

越高校）と豊岡實業は幹部候補生になれたのです。親としてみれば、そういう、国にも認められるところに進学させたいという気持ちがあつたのですね。

木下 配属将校が来て、徹底的に指導するんですから。

仲川 豊實の存在意義というのは親たちにとつて大きかつた。

木下 当時県立学校というの

は、我々の豊岡實業の他には飯女（現・飯能高校）と農蚕

（現・川越総合高校）、川越工

業、あと川中、川女（現・川

越女子高校）。これ位しかなかつたように思います。この周辺は農業中心で、特に農家の皆さんは何とか子どもを豊實へ行かせようとしていた。

仲川 親には、豊實に行かせて

たいという希望は相当あつた。

木下 それは豊實を信頼して

いることでしょう。

仲川 始めは豊岡町他九ヶ村

による組合立学校でしたので、やはり自分たちが作った学校

であるという意識があつたと思う。私が中学を卒業した時の高校進学率は二割でした。

木下 僕らのときは一割位かな。ほとんどは小学校高等科へ進む時代だった。振り返る

と、いや本当に、豊實というものは名実ともに信頼性の高い、学校であつたと思う。

仲川 特に商業科の卒業生が銀行とか証券会社に大勢先輩としていたので就職が良かつたのですね。

成瀬 仲川さんの卒業された頃は戦後が終わり、経済も伸び、昭和39年には東京オリンピックがありました。その当

時のことでの学生の雰囲気とか何かエピソードはありますか。

仲川 当時は部活が非常に盛んでした。所沢高校、飯能高

校、聖望高校との四校対抗と

いうのがありました。その頃

から、商業科が男子二クラス

女子一クラス、農業科が男子一クラス。農業科志望の生徒が減ってきたのです。それが

豊岡高校90年小史

大正9年（1920）

【国際連盟日本加盟】

4・27 学校設立の件認可
7・5 組合立豊岡農學校が設立（修業年限2年）

昭和2年（1927）

【金融恐慌】

8・27 二種以上の實業学科を置く学校に関する規定による学則変更の件認可。

農商兼修

9・15 校名を豊岡實業學校とす
る件認可
（修業年限5年）

昭和3年（1928）

【国民政府の中國統一】

1・15 学校昇格

昭和9年（1934）

【狭山飛行場開場】
4・新校舎落成祝賀式挙行
校歌制定（同窓会寄贈）

農業科廃止の原因でもあるのでしよう。

就職はよかつたです。地域の信頼を得られる人材も結構いました。いろいろな方面に進んだといえます。

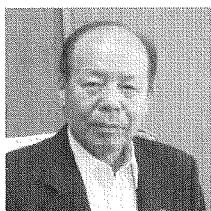
成瀬 具体的な活動の中でこんなことを地域に対しやつていたというようなことはございませんか。

木下 僕らの時は、地域活動ではないけれど、農産物を載せたりヤカーリを引いて地域の人たちに売り歩きました。

仲川 結構義理で買ってくれた。

木下 それは結構ありました。我々新聞部も金がないので、広告を取りました。「豊實の生徒か、いいよ出してやるよ。」というような伝統の重みというものはありましたね。

仲川 やはり、町の中には豊實の卒業生が多くた。商業科卒業でお



店をやっている人も多く、後輩を可愛がつてくれました。後輩でみんな合格できました。

私も弁論部の広告取りをやりましたが、行けば、必ず学校の様子を尋ねてくれました。

木下 私が弁論大会に出た時の入賞賞品が桐下駄です。陸上競技では私はハイジヤンの選手で、優勝した時も桐下駄でした。学校の桐を切って下駄を作らせ、それが賞品で、非常にあつたかい賞品をもらつた記憶があります。

村野 仲川さんは弁論部でしたか？

仲川 はい。

村野 実は私も弁論部だったのです。私が入学した頃は農業科が最後で、普通科ができる年でした。私は商業科に入りました。でも「質実剛健」の氣風は生きていきました。応援団も厳しく、校歌の練習をさせられた記憶がありますね。

それと、先輩が実業界にていましたから、銀行等の一

流企業の就職活動は7月で終

わりました。やっぱり先輩の骨折りでみんな合格できましたと

いう思いがありましたね。

豊實の終焉 普通科の幕開け

成瀬 これまでの話の中で、豊實が川高と肩を並べていた

というお話をありました。おそらく昭和37年当時、豊高が普通科になつたという過程でかなり期待感があつたかと思

うのですが、その頃の雰囲気はどうだつたのでしょうか。

村野 豊高的普通科は、私の

入学した昭和37年二学級で始まりました。私は商業科でした

が、先生方は所沢・飯能に負けない学校を作ろう……と意気込みは感じていました。

一方、地域の人たちの中には農業科がなくなる寂しさがあつたようにも感じてきました。

成瀬 普通科高校としての幕

開けの頃、地域の人には一抹

の寂しさがあつたのですね。

丁度、普通科一期生が卒業し

昭和10年（1935）
野球部 全国中等学校埼玉県予選に優勝

7・ 昭和11年（1936）
【国家主義思想高まる】

昭和12年（1937）
【2・26事件】
〔昭和12年（1937）〕

7・ 昭和12年（1937）
〔2・26事件〕
〔昭和12年（1937）〕

8・ 昭和16年（1941）
〔日華事変〕
〔昭和16年（1941）〕

8・ 昭和18年（1943）
〔太平洋戦争おこる〕
〔昭和18年（1943）〕

緒戦、松山中に72対0で圧勝

8・ 昭和16年（1941）
〔日華事変〕
〔昭和16年（1941）〕

8・ 昭和18年（1943）
〔太平洋戦争おこる〕
〔昭和18年（1943）〕

3・ 昭和21年（1946）
〔新憲法公布される〕
〔昭和21年（1946）〕

4・1 修業年限が5年となる。
〔新憲法公布される〕
〔昭和21年（1946）〕

た昭和41年に、県下第一と言われた前の体育館が竣工し、入間市の市制施行記念式典をここでやりました。

木下　学校が果たす役割は、多岐に亘るけれど、学校施設としての建物が地域とのつな

がりを持つという意味も大きい。講堂があつたことでいろんな方が来て豊高を知つてもらういい機会でした。

仲川　何よりも敷地が広かつた。農場があつたからね。

村野　農場がありましたね。あれは強みですよ。

木下　豊高はテニスも強かった。我々より二年位先輩は、全国大会にもでている。今のテニスコートは、昔の講堂の前にあつたもので、我々が作りました。当時作つたものが今もあるというのは思い出深い。

村野　講堂の南側にあつたテ

仲川　白い講堂のね。旧講堂は私たち卓球部の部室の脇で

ね。その白壁の前に、三面くらいあつたかな。そういうえば昔豊高の陸上部は結構いい成績を残していたように思う。

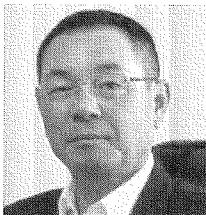
木下　そう、昔ね豊高は長距離が強かつた。

村野　その当時、現役部員が「先輩が来てしごかれたよ。」って言つてましたね。

木下　歴史をたどつていくとその時代の特徴的な行動があります。私の同級生で、黒須の小林駿介君は、家では夜に

きないと電気の節約で勉強ができないので、夏は火の見櫓の踊り場に淡い電球があるのでそこへ行つて、新聞紙に書いて勉強した。蚊も来ない、そ

やはり、農業後継者の育成とか、地元の商店主の後継



地域の評価と 再生を目指して

昭和22年（1947）

〔教育基本法　学校教育法公布〕

4・1 新制中学校を暫定的に併設し、旧実業学校2、3年生は中学2、3年に移行。

6・3 34制の教育制度始まる

昭和23年（1948）

〔インフレ激しくなる〕

4・1 埼玉県立豊岡実業高等学校となる。（修業年限3年）

昭和24年（1949）

〔湯川博士ノーベル賞〕

3・31 暫定併設中学校廃止

昭和25年（1950）

〔朝鮮動乱おこる〕

4・1 女子農村家庭科設置認可

〔修業年限3年〕

校友会に代わって生徒会発足

本校に初めて女子生徒入学

昭和30年（1955）

〔フルシャツ条約調印〕

12・17 創立35周年記念式典挙行

昭和32年（1957）

〔ソ連人工衛星打ち上げ〕

2・15 女子農村家庭科が商業科に変更許可

者との育成とかの関係でつながっていた△地元志向型△の豈実の役割が、普通科になつてサラリーマン的な△都會志向型△になつてきた。ですから以前の豊實というイメージがだんだんぼやけてきている状態かなという気がしました。

木下 豊實の時代は「おらが学校」という親近感を地域の皆が持っていました。それは新設されたけれど、みんな駅から遠かった。駅から近い所の学校なら何とかなるのではなかと思つてもみたのですが、飯能も普通科だし豊岡も普通科だしということで、なかなかかつての豊實の雰囲気が、普通科にすっと継承されなかつたというのであるのでしょうか。

木下 そうだろうね、やはり豊岡で言うならば、地元出身の生徒の入学が次第に厳しくなった。そこである意味、豊高そのものへの評価が違つてきたのかな。

成瀬 沢山ある普通科の中の一つの高校というようにですか。

木下 その時に、豊高は「進学校だよ」とか「うちはこうだよ」とか方向性を打ち出せ

仲川 あの頃どんどん高校が新設されたけれど、みんな駅から遠かった。駅から近い所の学校なら何とかなるのではなかと思つてもみたのですが、飯能も普通科だし豊岡も普通科だしということで、なかなかかつての豊實の雰囲気が、普通科にすっと継承されなかつたというのであるのでしょうか。

木下 そうだろうね、やはり豊岡で言うならば、地元出身の生徒の入学が次第に厳しくなった。そこである意味、豊高そのものへの評価が違つてきたのかな。

成瀬 と同時に各市町村で、自分の町の、自分の市の学校がほしいということだつた。木下・仲川 そうそう、誘致でね。

成瀬 それでは今後、この入間の地域社会の中で、豊高がどんな役割を担つていったらよいのでしょうか。進学校になつていくと、人間作りの場ではなく、ともすれば高校が単なる通過点のようになります。豊岡高校は平成25年から単位制の学校になります。

仲川 就職にも強い高等学校といふ両刀使いだったんだね。木下 特に県立高校というのは、トップがどういう目を持つて取り組もうとしているかで、随分左右されるのではないかと思う。あの時代はやはり「数を作れ」ということだつたのでしよう。

成瀬 と同時に各市町村で、自分の町の、自分の市の学校がほしいということだつた。木下・仲川 そうそう、誘致でね。

成瀬 難しい問題ですが、中学生同様、高校も大学へ行くための手段みたいになつてしまい、地域との関わりは非常に希薄になつてきてている。だからそういう中では学校と地域との連携を常に模索していくことは大事だと思う。

成瀬 今、如何なる状況に置かれっていても、自分でできつと課題を解決できる人材の育成が、おそらくどの分野でも求められていると思います。

木下 教育の在り様としては、いわゆる国づくりを目指した人材を育成していくことこそが、一番だと思う。豊高が進学校になつてもつとビシビシ

たらまた違つた道をたどつてきたかも知れない。そのへんが残念ながらちよつと中途半端な形で来てしまつた。

仲川 就職にも強い高等学校といふ両刀使いだったんだね。木下 特に県立高校というのは、トップがどういう目を持つて取り組もうとしているかで、随分左右されるのではないかと思う。あの時代はやはり「数を作れ」ということだつたのでしよう。

成瀬 と同時に各市町村で、自分の町の、自分の市の学校がほしいということだつた。木下・仲川 そうそう、誘致でね。

成瀬 難しい問題ですが、中学生同様、高校も大学へ行くための手段みたいになつてしまい、地域との関わりは非常に希薄になつてきてている。だからそういう中では学校と地域との連携を常に模索していくことは大事だと思う。

成瀬 今、如何なる状況に置かれっていても、自分でできつと課題を解決できる人材の育成が、おそらくどの分野でも求められていると思います。

木下 教育の在り様としては、いわゆる国づくりを目指した人材を育成していくことこそが、一番だと思う。豊高が進学校になつてもつとビシビシ

11・20	3・27	4・28	1・22	7・11	4・1	4・1	1・27
平成22年	創立90周年記念式典挙行	昭和47年(1972)	【浅間山莊事件】	【中国文化革命はじまる】	【オリンピック東京大会】	農業科の募集を停止	【キューバ危機】
(2010)	新体育館竣工	昭和21年(2009)	商業科生徒募集停止	正門・青年像(若草像)	定時制課程普通科設置	校名を埼玉県立豊岡高等	昭和39年(1964)
	【自民から民主へ政権交代】		完成				
							昭和37年(1962)

やつて欲しいような気もする。それから、知識・知能もそうだけれど、人格を磨くことも大切なことだと思う。

単に「東大へ入ったんだつて、あの高校すごいよ。」とい

うことが学校評価の全てでも困る。

村野 「進学校への転換」と「地域との連携」という二兎を追うのは難しいのではないと思います。今後の在り方かと思います。今後の方針として単位制進学校への転換は特色があつてとてもいいと思います。

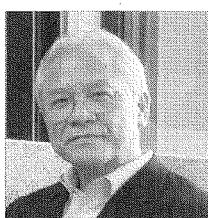
成瀬 今のところ目標として、国公立二十名合格というのを考えています。

村野 そうするとそれが一つの特徴になりますね。そのねらいに沿つてきちっと合格者を出す。そして保護者からの信頼を回復する。そうすれば、だんだんまた保護者を通しての地域との繋がりが出てくるのではないかと思います。

仲川 ただ社会の人間関係が

非常に希薄になつてきている。というのは事実ですね。それをどう構築していくかというの大きな問題です。

伝統と豊高精神



叶えてあげられる学校にしたい。そしてそれを支える精神のような

成瀬 生徒の進路希望である大学進学、国公立合格の夢を

今流に言えば「自分自身を強くして何事にもぶち当たつて行こうという精神」だろうと思ふ。何の目的もなく高校三年間を過ごし、卒業したら大学の道があつたということではなくて、自ら大学を選択する以上は、その先に目を向けてはいるのでしようか。創立百年間に向けて、今までの豊高の精神を生かしながらも、生徒たちの人間育成に当たつて、どのような精神的なものをバッカボーンとして意識させ、考えさせながらやつていけばいいのでしようか。

木下 「足元を固めて未来を考えよう。」—足元を固めてど

ういの豊高の伝統とはこう

なんだよという、たとえば「質実剛健」とか、そういうものでどう構築していくかというの視点を持つた人材を育ててもらいたいと思います。単純に「質実剛健」といつても、今の子どもたちは分からぬ。叶えてあげらるものが必要だうと思ひます。そんな意味での豊高的精神を、皆さんはどのように理解されているのでしようか。創立百年間に向けて、今までの豊高の精神を生かしながらも、生徒たちの人間育成に当たつて、どのような精神的なものをバッカボーンとして意識させ、考えさせながらやつていけばいいのでしようか。

仲川 私たちの目標というものは校歌そのものだつたような気がします。今の人たちには「出藍の誉れ」とか、「質実剛健」を「個の信念」という言葉に置き換えて信念を持つて行動できる高校生に育つて欲しいですね。豊高的魂といふものをどこかに据えて百年たつてもどんな形であれ残し

う視点を持つた人材を育ててもらいたいと思います。単純に「質実剛健」といつても、今の子どもたちは分からぬ。たため、高校二年になるまで下級生のいない変則なクラスだった。中学三年間、高校三年間を過ごし、都合六年間を豊高で学んだのである。

豊高の思い出
横田芳男
私は昭和二十一年四月旧制「豊実」に入学した。

途中で学制改革があり下級生は地元の新制中学へ入学し

たため、高校二年になるまで下級生のいない変則なクラスだった。中学三年間、高校三年間を過ごし、都合六年間を豊高で学んだのである。

戦後間もなくの時代で、衣食住全ての物が不足していた。制服などある訳はなく各人まちまちの服装だった。最初に配布された教科書は新聞紙の綴じて使用した。学校周辺の景觀は「茶研」以外は建物はなく、あたり一面畠のみだった。教科は農商兼修で、茶摘み、田植え、養蚕など懐かしい思い出である。

(昭27高卒)

て欲しいと思います。

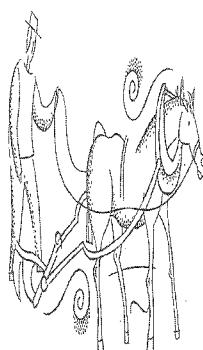
成瀬 基本的には豊實の精神

とは実学の精神ですね。なかなか普通科高校は人づくりが難しいと感じるのですけれど、いかがでしょうか。

村野 難しい問題ですね、人間教育と学力は車の両輪の関係にあると思います。もともと豊高は男子高でした、私が入学した昭和30年代後半でも

男子高の骨太の雰囲気がありました。基本的には純朴で骨太のところが真ん中について、子どもたちが自分の夢や希望に向かって、華やかさはないけれど、着々と自分の夢に向がつて進んでいける。そんな生徒が多ければいいなと思います。サラブレットでなくともいいから、農耕馬のように木下 そうですね。そういうた

理念というものを教師がまず共有し、如何に子どもたちに教えていくかということが大切だと思います。教師自身が



单なる知識伝達者で終わるのではなく、豊高という伝統校

としての重みというものを折に触れて指導して頂き、それを生徒に基本的に理解してもらうというのも、教師力によるところ大であると思います

から、それをお願いしたいと思

います。でも、こういうふうにみんながわが母校を振り返る、そういう学校であり続

けて欲しいよね。「もう高校時代を振り返るのは嫌だ」とい

うのでは悲しいね。振り返つてみた時、そこに「今の自分を育ててくれた豊實が、豊高がいてくれる」というように。これは豊高同窓生みんなの幸せだと思う。

成瀬 本日は長時間にわたりご多忙の中、本当にありがとうございました。

創立九十周年にあたり、会報『出藍』(第二号)を発刊することとなりました。編集委員一同鳩首の末、九十年を振り繰りつつ「豊高の精神」を手に梨の農園、現在の三号館は木造で、私たちの教室もそこにあつたと記憶しております。在・未来の豊高像が熱く語られ、予定の九十分もあつとう間に過ぎてしまいました。話など、ここに紹介し切れなかった話題も数知れず。今は、原稿を整理しながら、念いが残るばかりです。

なお、本文中に「豊實」「豊実」「豊高」の三語が混在しています。旧制の時代を「豊實」、昭和22年からの新制の実業時代を「豊実」、そして昭和39年4月、校名から「実業」の二文字が外れて以降を「豊高」と表記したことを付記します。

座談会雑感

豊高の思い出

大野 満

母校の創立九十周年おめでとうございます。

私が入学した昭和三十八年

一年経過した昭和三十九年に改称されました。今

は校名が豊岡実業高等学校で、

山部に入部し、武甲山でのボ

ッカ訓練、夏の南アルプス三

山の縦走合宿は本当に辛く、

寝袋も米軍払下げの羽毛の入

ったものでした。思い出は沢

山あり尽きません。最後にな

りましたが母校の更なるご発展を祈ります。

(昭和41年高卒)

事務局だより（同窓会事務局からのお知らせ）

◎会報発行賛助金
への協力のお願い

一口 金壱肝田也
別途専用の郵便振込用
紙をお使い下さい。手数
料は不要です。

本校創立九十周年にあ
わせて、同窓会会報『出
藍』第二号（創立九十周
年記念特集号）を発行す
ることができました。同
窓会に関わる運営経費は、
本会会則第5章第14条

◎創立九十周年
記念式典及び
祝賀会の開催

創立九十周年を記念し、
式典と祝賀会が次のとお
り開催されます。

※ 記念式典 ※

日時 11月20日(土)

午後一時三十分より

会場 豊岡高校体育館

日時 11月20日(土)

午後五時三十分より

会場 まるひる 入間店

※ 祝賀会 ※

日時 11月20日(土)

午後五時三十分より

会場 まるひる 入間店

※ 祝賀会 ※

日時 11月20日(土)

午後五時三十分より

会場 まるひる 入間店

ために、卒業生の皆様に
会報発行の為の賛助金の
ご協力を願い申し上げ
ます。

同窓会報「出藍」は各

年度の同窓会係の方を中
心に配布しております。

多くの同窓生に
読んでいただき、
同窓生同士の交
流や絆を深める
会報としていた
つまでは、

皆様がお持ちの
同窓会に関わる
情報（卒業生の
活躍や同窓会の
開催等）、資料（写真・
刊行物、殊に昭和3年頃
に出ていた同窓会報、学
校生の卒業時の同窓会入
金その他）によるとあり
ます。しかし実質は、在
校生の卒業時の同窓会入
金のみによってまかな
われているのが現状です。

そこで今後、継続して
同窓会報を発行していく
ために、卒業生の皆様に
会報発行の為の賛助金の
ご協力を願い申し上げ
ます。

友会時報等）、また本誌
購読希望の方を「存知で
いた。併せて、「豊
高の想い出」や
「近況報告」、
「文芸作品」、
「その他」一般

編輯後記

▼大正9年7月5日、豊
岡小学校内に組合立豊岡
農学校が設立された。九
十年前のことで人間でい
う牟寿。長寿校としての
誉を同窓生皆で祝いたい。
表を繙いてみた。国際連
盟が結成され日本も加盟、
日比谷公園で日本初のメ
ーデー、戦艦長門の竣工
等があつた。長谷川町子、
川口康範、川上哲治、三
船敏郎 等が誕生し、黒
岩涙香が亡くなっている。
▼慶應・早稲田の私大二
雄が、大学令に基づき、
日本初の私立大学として
認可されたのもこの年。
二雄の濫觴は幕末・明治
に遡るが、大学としての
出発は、ともに実学を基
本とする我等が豊高の創
立と同年であった。(あ)

8